

土木工事積算基準等の改定について

国土交通省 大臣官房 技術調査課

1. はじめに

昨年の通常国会において、現在及び将来の公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保の促進を図ることを新たに目的に追加し「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」が衆議院、参議院ともに全会一致で可決、成立し、同年6月4日に公布、施行されました。

改正品確法では、適正な利潤の確保のための予定価格の設定、低入札価格調査基準等の適切な設定、計画的な発注や適切な工期設定、適切な設計変更などが、発注者の責務として明確化されています。

改正品確法の発注者責務を果たすため、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう、適切に作成された仕様書および設計書に基づき、経済社会情勢の変化を勘案し、市場における労務・資材等の取引価格、施工の実態等を的確に反映した予定価格を適正に設定するため、土木工事積算基準を定める必要があります。

今回、「一般管理費等率及び現場管理費率の改定」、「市街地（DID）補正の改定」、「施工パッケージ型積算方式の拡充」等を行い、平成27年度の土木工事積算基準から適用開始します。

本稿では、土木工事積算基準の改定内容について、説明させていただきます。

2. 土木工事標準積算基準の改定について

(1) 一般管理費等率及び現場管理費率の改定

適正な利潤及び人材育成・確保に係る費用を適切に積算基準に反映し、適正な予定価格を設定するため、一般管理費等率を改定します（図—1 参照）。

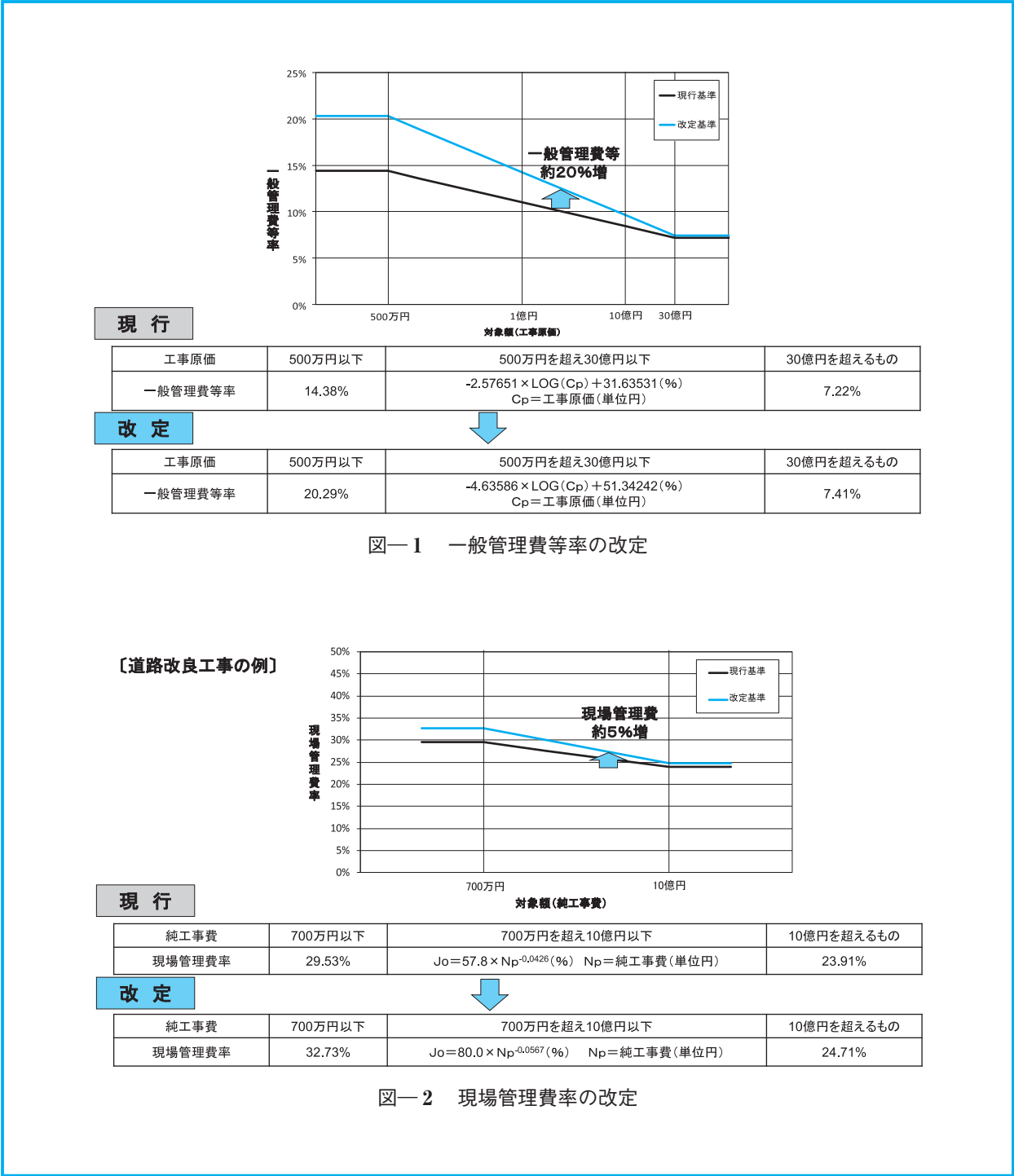
また、現場管理費率についても、一般管理費等率の改定に伴い、現場管理費の外注経費（外注する際の一般管理費等）についても合わせて改定します（図—2 参照）。

(2) 市街地（DID）補正の改定

市街地では、住宅密集地での安全管理等の費用がかかり、仮置きヤード等の確保が困難なため、費用がかさむ傾向があります。最新の実態調査結果に基づき、共通仮設費を1.3倍、現場管理費を1.1倍へ市街地（DID）の補正係数を改定します。大都市以外の市街地（DID）における補正対象工種に適用します（表—1 参照）。

(3) 施工パッケージ型積算方式の拡充

施工パッケージ型積算方式については、平成24



表―2 導入済みの施工パッケージの改定

工 種 名	施工パッケージ名
土の敷均し締固め工	路体（築堤）盛土 路床盛土
小規模土工	掘削 積込（ルーズ） 舗装版破碎積込（小規模土工） 床掘り 埋戻し
人力土工	掘削 人力積込 床掘り 埋戻し ベルトコンベヤ併用人力掘削（床掘り） ベルトコンベヤ併用人力積込
現場打擁壁工	小型擁壁（A） 小型擁壁（B）
アンカー工 （ロータリーパーカッション式）	アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） グラウト注入（アンカー） ボーリングマシン移設（アンカー） 足場工（アンカー）
構造物とりこわし工	コンクリートはつり

年10月1日以降試行を開始し、平成25年10月1日から拡充を行い、平成27年4月1日時点で208施工パッケージを導入しているところです。導入済みの施工パッケージについて、施工調査に基づき、小規模・人力工事や維持工事を中心に17施工パッケージを改定（表―2参照）するとともに、資材、労務、機械経費の物価変動に伴う標準単価及び機労材構成比の改定を行います。改定後の単価は、「平成27年度 施工パッケージ型積算方式標準単価表」「平成27年度 東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」として、国土技術政策総合研究所HPに掲載します（http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm）。

また、平成27年10月1日以降に入札書提出期限日となる工事から、111施工パッケージを追加導入します（表―3参照）。これに伴い、施工パッケージ型積算基準についても拡充し、国土交通省HPに掲載します（<http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekkei.html>）。

3. おわりに

少子高齢化の進展に伴って、建設産業も高齢化や若年入職者の減少という構造的な課題に直面しています。

今回、改正品確法の発注者責務を果たすため、土木工事積算基準の改定を行ったところですが、担い手の確保が建設産業の大きな課題となっており、人材育成・確保の観点から、現場における処遇改善の徹底や若手の早期活躍の推進、将来を見通すことのできる環境整備のため、適正な予定価格の作成や適正価格での契約が必要となります。

今後も引き続き、実際に現場で工事に携わられている方々の実態をより適切に反映し、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう、土木工事積算基準の改定について検討し、適正な予定価格の設定に努めてまいりたいと考えています。

表－３ 追加導入する施工パッケージ

分類	No	パッケージ名称	分類	No	パッケージ名称
共通工	1	プレキャストコンクリート板	付属施設	60	ボックスビーム
	2	プレキャストコンクリート板（材料費）		61	落下物等防止柵
	3	ジョイント処理		62	落下物等防止柵（材料費）
	4	ジョイント金物（材料費）		63	スノーポール設置撤去
	5	石積（練石）（複合）		64	スノーポール（材料費）
	6	石張（複合）	道路維持修繕工	65	張紙防止塗装
	7	石積（張）		66	張紙防止塗装（材料費）
	8	石積（張）（材料費）		67	鋼板巻立て（材料費）
	9	胴込・裏込コンクリート		68	スタットジベル（材料費）
	10	裏込材（クラッシュラン）		69	鋼板巻立て
	11	コンクリート（場所打擁壁）		70	シール材（材料費） ※橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）
	12	ジオテキスタイル壁面材組立・設置		71	注入材（材料費） ※橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）
	13	ジオテキスタイル壁面材（材料費）		72	現場溶接
	14	ジオテキスタイル（材料費）		73	フーチングアンカー削孔・定着
	15	ジオテキスタイル敷設・まき出し・敷均し・締固め		74	アンカー筋（材料費）
	16	発泡スチロール設置		75	アンカー注入材（材料費）
	17	発泡スチロール（材料費）		76	鋼板取付
	18	緊結金具（材料費）		77	シール材（材料費） ※橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）
	19	コンクリート床版		78	注入材（材料費） ※橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）
	20	支柱結合アンカー（材料費）		79	コンクリート削孔
	21	支柱設置		80	コンクリート巻立て
	22	支柱（材料費）		81	足場（適用範囲外コンクリート巻立て工）
	23	壁面材設置		82	下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工）
	24	壁面材（材料費）		83	型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工）
	25	裏込砕石（軽量盛土工）		84	コンクリート（適用範囲外コンクリート巻立て工）
	26	コンクリート（場所打函渠）		85	支承取替（鋼橋）
コンクリート工	27	型枠（鉄筋構造）〔省力化構造〕		86	支承取替（PC橋）
河川海岸	28	捨石		87	支承（材料費）
	29	捨石（材料費）		88	足場
	30	表面均し		89	コンクリート削孔（コアボーリングマシン）
河川維持工	31	不陸整正・締固め		90	コンクリート削孔（ハンマドリル）
	32	抜根		91	コンクリート削孔（さく岩機（ハンドハンマ））
	33	施肥		92	アンカー
	34	伐木・伐竹（伐木除根）		93	アンカー材（材料費）
	35	除根（伐木除根）		94	注入材（材料費） ※落橋防止装置工
	36	整地（伐木除根）		95	充填補修
	37	集積積込み（機械施工）（伐木除根）		96	補修材（材料費）
	38	集積（人力施工）（伐木除根）		97	視線誘導標清掃
	39	積込み（人力施工）（伐木除根）		98	樹清掃（人力清掃工）
	40	運搬（伐木除根）		99	チップング（厚 1 ～ 2 cm）
	41	伐木・伐竹（複合）		100	アンカーボルト挿入
	42	注入		101	アンカーボルト（材料費）
	43	削孔		102	注入材（材料費） ※沓座拡幅工
	44	注入設備据付・解体		103	桁連結装置（材料費）
	45	グラウトホール		104	芯出し素地調整
	46	グラウト管（材料費）		105	現場孔明
地すべり防止工	47	ボーリング		106	連結板取付
	48	保孔管		107	現場溶接
	49	ボーリング仮設機材		108	ボルト締
	50	足場（地表）		109	路肩整正（人力による土はね）
付属施設	51	防雪柵	橋梁工	110	型枠（鋼橋床版）
	52	防雪柵（材料費）		111	養生（鋼橋床版）
	53	防雪柵現地張出し・収納			
	54	雪崩予防柵			
	55	雪崩予防柵（材料費）			
	56	吊柵アンカー			
	57	パイプアンカー（材料費）			
	58	樹脂アンカー（材料費）			
	59	簡易ケーブルクレーン（1 t 吊）設置・撤去			